

取締役再任に関するお知らせ



(左から) 監査役 ispace 井上、取締役 畑田氏、取締役 牧野氏、取締役 中田氏、代表取締役 ispace 袴田、
取締役 ispace 野崎、監査役 内藤氏、監査役 轟氏、取締役 川名氏、取締役 赤浦氏

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード 9348）は、本日開催の第 14 期定時株主総会において、当社取締役 7 名の再任が決議されたことをお知らせいたします。またその後開催されました当社取締役会において、CEO & Founder 袴田武史が代表取締役に同日付で再任されましたことをお知らせいたします。

再任されました当社取締役は以下 7 名です。

(代表取締役) CEO & Founder 袴田 武史

(取締役) CFO 野崎 順平

(社外取締役) インキュベイトファンド株式会社 ジェネラルパートナー 赤浦 徹 氏

(社外取締役) ルブリスト株式会社 代表取締役 川名 浩一 氏

(社外取締役) アクチュアリ株式会社 代表取締役 中田 華寿子 氏

(社外取締役) 株式会社 IHI 顧問 牧野 隆 氏

(社外取締役) 将来宇宙輸送システム株式会社 代表取締役 畑田 康二郎 氏

なお引き続き、当社常勤監査役の井上優司、社外監査役の轟芳英氏、内藤亜雅沙氏は当社監査役を、瀬戸川真紀氏は社外補欠監査役を勤めます。

また、本定時株主総会の終結の時をもって任期が満了する jinjer 株式会社 代表取締役 桑内孝志氏は、社外取締役を退任されます。

■ 株式会社 ispace 代表取締役 CEO & Founder 袴田 武史 コメント

「桑内氏は長年の証券会社勤務による豊富なコーポレートファイナンス及びコーポレート・ガバナンスの知見を基に、当社が非公開企業である頃から今日に至るまで、長年当社の成長へ献身的なご尽力をいただきました。ispace 一同、ここに深く感謝を申し上げます。また、再任された取締役の皆様と共に、ispace の成長とより強固なコーポレート・ガバナンスおよび経営体制を構築し、ミッション 2 の成功及び更なる事業成長に向けて邁進して参ります。」

■ 株式会社 ispace (<https://ispace-inc.com/jpn/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの 3 拠点で活動し、現在約 300 名のスタッフが在籍。2010 年に設立し、Google Lunar XPRIZE レースの最終選考に残った 5 チームのうちの 1 チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022 年 12 月 11 日には SpaceX の Falcon 9 を使用し、同社初となるミッション 1 のランダーの打ち上げを完了。続く 2024 年冬ⁱにミッション 2 の打ち上げを、2026 年ⁱⁱにミッション 3、2027 年ⁱⁱⁱにミッション 6 の打ち上げを行う予定。

ミッション 1 の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション 1 マイルストーンの 10 段階の内 Success8 まで成功を収めることができ、Success9 中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション 1 で得られたデータやノウハウは、後続するミッション 2 へフィードバックされる予定。更にミッション 3 では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によって NASA が行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

ⁱ 2024 年 6 月時点の想定

ⁱⁱ 2024 年 6 月時点の想定

ⁱⁱⁱ 2024 年 6 月時点の想定